

一日国替え事業 二戸市長来町

11月15日、平成南部藩の一日国替え事業で岩手県二戸市長の小保内（おほない）市長が来町しました。

「平成・南部藩」は南部氏ゆかりの南部町、身延町、青森県南部町、八戸市、七戸町、三戸町、岩手県三戸市、盛岡市、遠野市の9市町で構成され、今回実施した一日国替えや子どもサミットなどで交流を深めています。

小保内二戸市長は役場本庁舎で職員への訓示の後、浄光寺で供養塔への参拝、南部中学校で蒙軒学舎跡地の説明、近藤浩一路記念美術館で作品鑑賞などを積極的にこなし、一日国替え事業が終了しました。



戦没者慰霊祭



11月13日、南部町総合会館3階講堂で「南部町戦没者慰霊祭」が来賓・遺族・町関係者らが出席する中、厳かに行われました。

334柱の御霊を偲んで黙祷を捧げ、戦争で亡くなられた方のご冥福を祈りました。

また、出席者による献花が行われ、戦没者を偲ぶと共に、二度と戦争を起さず平和という平和への決意を御霊の前で誓いました。

南部町文化祭

11月4日、南部町文化ホールで南部町文化祭芸能発表部門が開催されました。30の団体が参加し、日ごろの練習の成果を披露しました。演目が終わるたびに会場は大きな拍手に包まれました。

また、展示部門は南部地区が南部町総合会館で11月2日から4日まで、富沢地区が南部町活性化センターで11月9日から11日まで行われました。芸能発表と同様、充実した展示内容で来場者を楽しませていました。



港区と国産木材の 活用に関する協定を 締結しました



10月31日、港区役所で「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」についての調印式が行われました。

南部町は、東京都港区が平成23年10月より開始した「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の趣旨に賛同し、協定を締結したものです。

本制度は、港区内の公共施設・民間建築物等での国産材の利用を促進することで、港区内の二酸化炭素の固定量の増加、森林整備による二酸化炭素の吸収の促進を図り、地球温暖化防止に貢献することを目的としています。

港区内で南部町産材が活用されることにより、本町の森林整備促進と首都圏へのPRや販路拡大にもつながることが期待されます。

「女性7団体との意見交換会」



11月9日、女性団体連絡協議会に参加している愛育会、交通安全母の会、食生活改善、消生研、JA女性部（富沢・南部）、南部地区ボランティアの7団体の役員の方々と初めての試みとして意見交換会が行われました。

町の女性団体の活動状況やその内容と今後の課題、行政との連携についての意見が交わされましたが、婦人会解散後、各地域で女性組織の弱体化が危惧されていることから、色々な意見が交わされ、これからの女性組織の在り方や組織の存続についての課題や行政との関わりなど、直面している問題が簡単には解決できない事があげられ、女性組織の衰退をさせないためにも活性化し、女性団体連絡協議会として進んで取り組んでいく事が確認されました。

これから、活動が盛んになる事が期待されます。

それぞれの団体の活動に興味のある方、是非参加をしてみたいかがでしょうか！

お問合せ

生涯学習課 ☎ 66-3115

みんなが暮らせる認知症の会

11月15日活性化センター多目的ホールでみんなで考える認知症の会が開かれ、多くの皆さんにお越しいただきました。

この会は南部町在宅医療連携協議会が主催の講演会で、町民が安心して継続した在宅支援が得られるよう、医療・福祉・介護関係者の連携体制を整え、各分野の情報共有を図ることを目的に昨年からの活動している団体です。

今回は各分野で活躍している5名が、認知症とどう向き合っていくのかについてそれぞれの立場に立った詳しい話をされました。来場した皆さんも講師の話真剣な眼差しで聞き入っていました。



認知症では？おかしいなとおもったら

南部町医療センター 市川万邦所長に伺いました。—— 認知症を理解しようNO.2 ——

認知症はいきなりわからなくなるわけではありません。喜怒哀楽の感情や自尊心などはかなり進行しないと失われません。特に、認知症の初期には、本人が戸惑いをおぼえ、認知症を隠そうとする行動が見られることがあります。

忘れてしまったことをつじつまの合わない行動をします。それを隠そうと、さらにつじつまの合わない行動をとることがあります。しかし、認知症の初期段階にいる本人も内心では、「おかしいな？どうしよう」と不安な気持ちになるのです。周囲の人は、とがめたりせずにお年寄りの気持ちを理解し、適切なケアを受けられるように導く必要があります。

認知症の受診について

医学の進歩によって、認知症も早期に発見し治療すれば症状の進行を抑えたり改善することができます。そのため、認知症は早期の受診が大切です。認知症の初期症状かもと疑われる際に、受診する場合の専門診療科は、精神科、神経科、神経内科です。病院によっては、老年科、脳神経外科などの診療科で対応しているところもあります。受診の前に、病院に電話で聞いておくといよいでしょう。また事前に予約しておくとい便利です。なお、南部町医療センターでは月2回精神科外来がありますのでぜひご利用ください。

受診させるコツ

周囲が受診を無理強いしてはいけません。本人と家族の信頼関係がくずれてしまいます。また嘘をついて病院に連れて行くことも避けた方がよいでしょう。本人には、「健康診断にいこう」と病院に行くことを伝えておいたほうがよいと思われます。また、受診の際はいつもそばにいる家族がついて行くといよいでしょう。本人も安心し、医者に伝える内容も正確性を増します。

絵画の寄贈頂きました

昨年、アルカディア文化館において個人展を開催しました渡辺修孝様より、風景画「秋澄む」(油絵)の寄贈を受けました。
森に囲まれた湖(伊奈ヶ湖)が見事なタッチで描かれ、湖面に写る紅葉風景からは空気感までもが伝わる見事な作品です。

大切に展示させて頂きます。



渡辺修孝 作
「秋澄む」

秋のわいわいお話し会開催

10月28日、南部図書館で秋のわいわいお話し会が開催されました。

図書館ボランティア、ティディーベアの会によるパネルシアターや人形ポードビル(曲に合わせて指人形での演出)を行い、曲に合わせて体を動かしたり拍手をしたり友達と楽しみました。

また、読み聞かせによるアニメーションクイズ(本のお話しにそってクイズを出すゲーム)では、子ども達の集中力がためされ、真剣な表情が印象的でした。

スポーツバレー関東大会出場

10月14日・21日に行われた平成24年度会長旗山梨県小学生バレーボール大会兼第28回関東小学生バレーボール大会山梨県予選会で、南部町(男子)は準決勝で一宮Jに2-0、甲府VSCに2-0で勝利し、関東大会への出場キップを手に入れました。

11月24日～25日に神奈川県のとろきアリーナと宮前スポーツセンターで開催された関東大会ではリーグ戦で3位となり、男子3位トーナメントへと進み、埼玉県の西町ジュニアに0-2で惜敗となりました。監督、選手、保護者の皆さん、お疲れ様でした。



障害者週間(12月3日～9日)

～障害者福祉の向上を目指して!!～

12月3日から9日までは「障害者週間」です。「障害者週間」は、障害者の福祉について関心と理解を深めるとともに障害者が社会、経済、文化その他のあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高める事を目的とした週間です。

障害のある人も、ない人も地域で生活し、社会参加をしたいと思う気持ちは誰もが一緒です。

南部町には(平成24年10月31日現在)障害者手帳をお持ちの人は617人(身体障害者は498人、知的障害者は70人、精神障害者は49人)で南部町の人口の約6.9%となっています。町内には、障害者(身体・知的・精神)が利用できる地域活動支援センターが2箇所あります。各施設の利用方法を知りたい方、又ボランティアの募集等もしておりますのでお気軽に下記までお訪ね下さい。

名称	活動内容	外観
南部町地域活動センター あじさい工房 ☎6 4-4 7 7 4	受注作業の封筒の袋詰めを通じて、精神障害から回復の途上にある人たちが集団の中で働き、話し合い、地域で自分らしく生きていくために生活するリズムを整えていくことを目的としています。	
南部町地域活動センター ふきのとう ☎6 4-4 8 7 7	主に牛乳パックを再生して手作りハガキの作成やアルミカンの収集等を行っています。音楽を聴きながら毎日楽しく作業をしています。年間を通じてイベントに参加したり、行事なども計画し楽しく過ごしています。	

お問合せ 福祉保健課 ☎6 4-4 8 3 6